

## 社会科の窓 VOL 10

令和3年9月17日

京都市立稲荷小学校 校長 吉山 茂樹

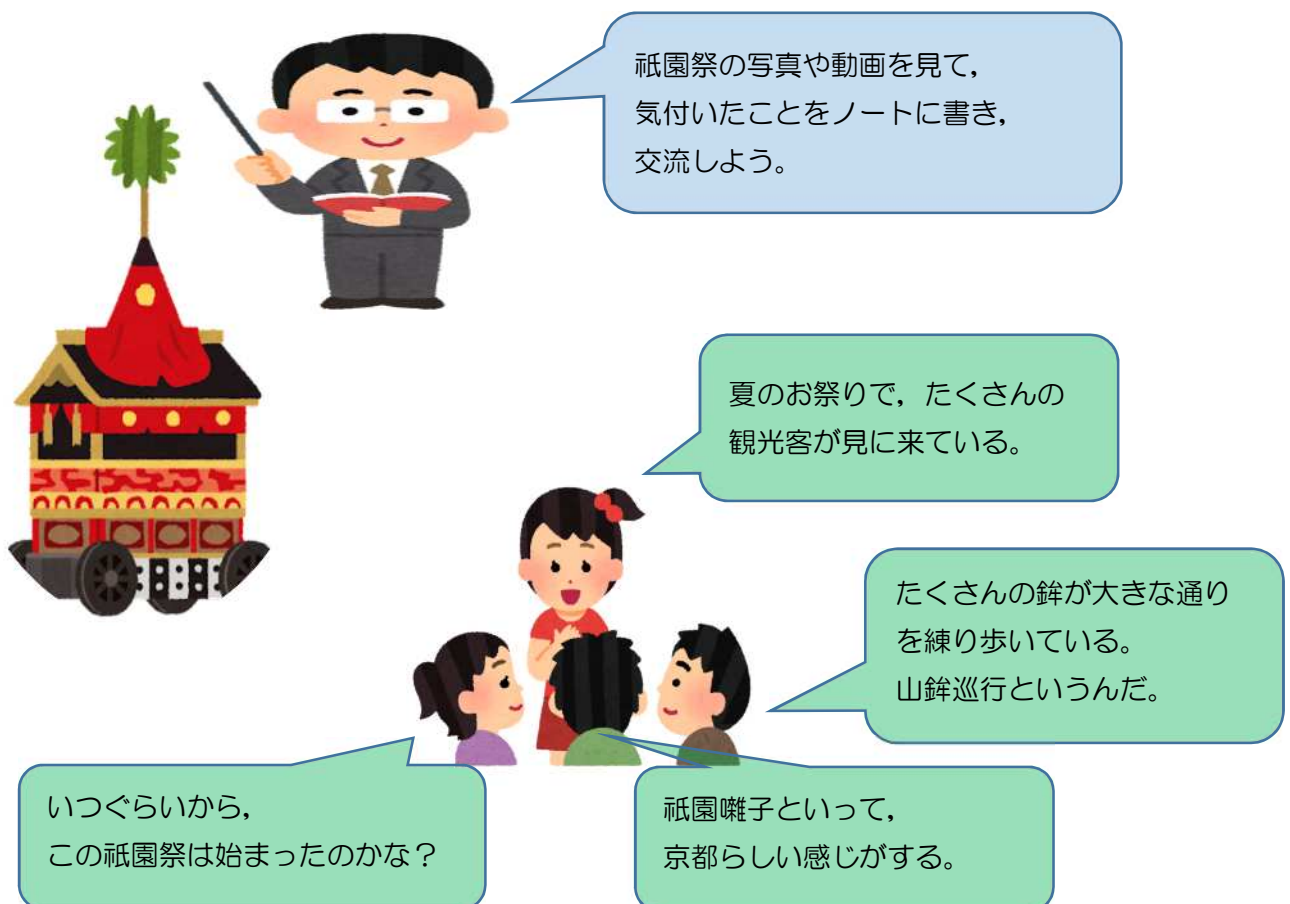
### 「府内の伝統や文化と先人の働き」～祇園祭を調べる～（4年）

以前の学習指導要領では、3年生で自分の住んでいる地域のお祭りがどのように受け継がれてきたのか学習してきた。学習指導要領が変わって、「県内」という言葉が入り、4年生に移行した。

県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことを理解する。

京都には、「三大祭」があり、葵祭や時代祭もある。どれを取り上げてもよいが、祭りのスケールや子どもたちの認知度から言って、副読本で取り扱っている「祇園祭」を取り上げるのがよいであろう。

副読本の写真や動画を見せて、「祇園祭」について気付いたことを発表しよう。



気付きをもとに、調べてみたいことを考えさせて、発表させる。



みんな、たくさん見付けられて、すごい。では、気付いたことから、もう少し調べてみたいことを考えて発表しよう。

この発表の時の板書が大切になってきます。ただ、発表を順に板書したのでは、調べる視点がはっきりしません。そこで、祇園祭全体の内容なのか、鉦のことなのかせめてこの2つは分けて板書するだけで、授業が変わります。

＜祇園祭全体の内容＞

- ・ いつから始まったのか。（起源）
- ・ どうして始まったのか。（きっかけ）
- ・ いつからいつまでであるのか。（期間）
- ・ 毎年どれぐらいの観光客が来るのか。（観光客）

＜鉦の内容＞

- ・ 鉦は全部でいくつぐらいあるのか。（数）
- ・ 名前がついているが、どうして名前がついたのか。（名前）
- ・ 鉦はどうして組み立てるのか。どれぐらいかかるのか。（手順）
- ・ 鉦の中で演奏している楽器はどんなものか。（楽器）
- ・ 鉦を引くのに何人ぐらいいるのか。（引き手）
- ・ 曲がる時は、どうして曲がることができるのか。（技）

この2つに絞って、（ ）のようなキーワードをはっきりさせると、調べやすいし、まとめやすくなります。

調べる時には、このような視点をしっかりもたせることが重要です。ただ、単に「祇園祭についてしらべてごらん。」では、追究意欲は湧いてきません。少し話し込んで、もう少し知りたい、調べたいと思ったら、こちらのねらうところです。